

English follows Japanese

使徒の働き 6章 1-6節 教会に於ける執事

今日は神が召命を与えられた YIBC の一番新しい執事の按手式を執り行います。新しく任命された執事に按手を行うことはいつも感動的であり胸がわくわくします。このため、今週は創世記のアブラハムの学びを離れて聖書の執事の箇所重点を置きます。今年中に私たちが教会として信じていることを網羅するメッセージのシリーズを説教する予定です。その一環として、教会についての説教で執事に関しても取り上げます。今日の学びはそのための土台を敷く素晴らしいチャンスです。今日は私たちが初めてディーコンとして知られるようになる者たちが紹介される聖句を見ていきたいと思ひます。使徒の働き 6章 1~6節、まず、この聖句を共に読んでいきたいと思ひます。

1.そのころ、弟子の数が増えるにつれて、ギリシア語を使うユダヤ人たちから、ヘブル語を使うユダヤ人たちに対して苦情が出た。彼らのうちのやもめたちが、毎日の配給においてなおざりにされていたからである。 2.そこで、十二人は弟子たち全員を呼び集めてこう言った。「私たちが神のことばを後回しにして、食卓のことに仕えるのは良くありません。 3.そこで、兄弟たち。あなたがたの中から、御霊と知恵に満ちた、評判の良い人たちを七人選びなさい。その人たちにこの務めを任せることにして、 4.私たちは祈りと、みことばの奉仕に専念します。」

5.この提案を一同はみな喜んで受け入れた。そして彼らは、信仰と聖霊に満ちた人ステパノ、およびピリポ、プロコロ、ニカノル、ティモン、パルメナ、そしてアンティオキアの改宗者ニコラオを選び、

6.この人たちを使徒たちの前に立たせた。使徒たちは祈って、彼らの上に手を置いた。

祈りましょう。

この聖句は短いですが、執事についての基本的な3つの問いに答えています。ここでは執事とは何ですかと言う最初の最も基本的な質問に答えています。ここで指摘しなければいけないのは私たちがここで見る人たちはディーコン、執事とは呼ばれていないことですが、私たちは彼らを最初の執事たちと理解していることです。この聖句では、実際、教会の二つの異なった教会職または指導的地位を見ます。執事職を理解するにはまずこの二つの職の違いを理解することから始まります。2節で言及している十二使徒は教会の長老または牧師です。彼らは教会を先導し、福音を説き、イエスから受けた教えをエルサレムでの最初の教会を構成したこれらの新しい信者たちに伝えました。牧師と執事の違いが執事とは何であるかを示してくれます。聖書では長老と牧師に使われている教会でのある種の権威を表す3つの言葉があります。執事には唯一 diakonos の一語だけです。この言葉は文字通り仕える人と言う意味です。この言葉の難解なところは執事、ディーコン以外に翻訳されることがあることです。時として、教会の正式な信徒職を指しているのか、誰かしら奉仕する人を指しているのかははっきりしません。それでは、ディーコン、執事とは何でしょうか。彼らは教会の僕です。教会は彼らを必要としています。執事の役割は長老と牧師が与えられた教会の指導者としての役割とはっきり区別されています。この長老と執事の区別は次の問に導きます。なぜ、執事は必要なのでしょう

教会はもうすでに牧師が与えられており、多くの場合教会での彼ら奉仕は報酬が支払われています。それでは、なぜ執事が必要なのでしょう。初期の教会も同じ状況でした。イエスと個人的に歩み、イエスに教えを授けられた12人がいました。それでは、なぜ7名の他の人たちを教会が正式に承認するために選んだのでしょうか。この聖句で知ることができる執事が果たす二つの特有な使命があります。一つ目の使命は教会の一致です。教会の一致は最も重要であることを覚えてください。パウロはこれをコリント人への手紙 第一 1章 10節で上手に要約しています。

さて、兄弟たち、私たちの主イエス・キリストの名によって、あなたがたにお願いします。どうか皆が語ることを一つにして、仲間割れせず、同じ心、同じ考えで一致してください。これが使徒の働きで起こっていたことのお膳立てをします。当時、世話をすることができる子供を持たないやもめを日々援助するための食糧配給などを担う社会福祉構造がなく、ギリシャ人のやもめがなおざりにされたことによって内部亀裂が生じていました。彼女たちが信者となり、自分たちの子供たちから拒絶されていたのかもしれませんが。教会の一致を取り戻すための長老、使徒たちによって提案された解決策はやがてディーコン、執事として私たちが知る最初の7名の人たちを選

ぶことでした。彼らはやもめたちの懸念や問題に対処しキリストの体の一致は取り戻されました。

ここ使徒の働きの書でディーコンがどのように用いられていたかを見ることによって、長老たちが神に与えられた役割で奉仕ことができるように自由になりました。そうすることがディーコンの二つ目の使命です。2-4節で教会の長老である使徒たちが彼らが何に専念するはずであったかを言っているのに注目してください。2.そこで、十二人は弟子たち全員を呼び集めてこう言った。「私たちが神のことばを後回しにして、食卓のことに仕えるのは良くありません。3.そこで、兄弟たち。あなたがたの中から、御霊と知恵に満ちた、評判の良い人たちを七人選びなさい。その人たちにこの務めを任せることにして、4.私たちは祈りと、みことばの奉仕に専念します。」長老たちの奉仕の中心となるはずの指定された3つの任務は説教、祈りと御言葉の奉仕です。御言葉の奉仕は説教と教会での教えですので説教と対になります。その他にも、特にキリストの体として一致を保つように召されている人々には対処しなければいけない、どの団体でも起こり得る多くの事柄や必要があります。説教、祈りと御言葉の奉仕と関連のない他の課題が長老たちの重点的に取り組まなければいけない責務の妨げとなる時、ディーコンが長老と協力して彼をそれらの懸案事項から解放する必要があります。ディーコンは今日もそれらの任務が可能であり果たすべきでしょうか。当然です。人々はいまだに、初期教会のギリシャ人のやもめのように正当な不平不満やそうでないものも持ち出します。ディーコンは教会の一致が守られ、それぞれの教会員が互いに示し合うべきキリストの愛を感じることができるよう生じる必要や問題に反応すべきです。今年の執事会と私自身の最重要課題の一つはYIBCの教会員それぞれに担当のディーコンを任命することです。その目的はそれぞれの教会員とつながりを持ち援助の必要がないか、また祈りの課題が無いのか、共に祈れないかを知るためです。日曜学校、聖書勉強会に参加されている方々にはそこでなされるでしょう。その他の方々にはディーコンの一人から直接連絡があるでしょう。知っていただきたいのは、ディーコンはYIBCの教会員であるあなたに仕えるためにいることです。私たちの現代の文化には、牧師や長老の第一の任務である祈り、説教、と御言葉の奉仕から気をそらさせる課題が多くあります。私たちには、キリストの体が集える建物があります。教会に絶対必要と言うわけではありませんが、とても素晴らしい神の祝福です。この建物は維持管理が必要です。教会における弟子訓練の最良の方法を模索する中で、日曜学校と言う組織が造られ、子供たちを発達年齢に応じて教える方法を編み出されました。そこには教師の予定の管理や教材の選定や発注が必要です。牧師が管理運営することは出来ませんが、僕であるディーコンに任せた方がより良いでしょう。長老と牧師は教会が集う日曜日の朝の礼拝で神に対して責任を負います。しかし、礼拝式の細かな計画の実施の部分は他の人たちがより気を配ってくれています。アッシャーやグリーター、サウンドミキサーの操作技師、ミュージシャンの予定を組む方、プロクレームのソフトウェア操作係、そのほかの方々の奉仕があります。

これらのすべては初期の教会ではありませんでした。しかし、今、教会では聖書的であるとともに現代にマッチするように助けてくれます。ですから、神は牧師だけではなく、ディーコンも定められこれらが事細かく対処できるようにされたのです。

この聖句では明白ではありませんが、重要な最後の問は、誰がディーコンになるべきかと言うことです。この問いに対する端的な答えは、教会である方々、あなたが、その職にふさわしい人を見極め選ぶのです。ここで注目していただきたいのは、ここ使徒の働きの書で、ディーコンを選んだのが使徒たちでも、教会の牧師や長老でもなかったことです。教会自身が選んだのでした。エルサレムの初期の教会は7名の人をディーコンとして仕えるために選びました。7名と言う人数にこだわる教会もありますが、その数字自体は重要ではなく守る必要はないと思われます。それぞれの教会の必要に応じて自由にそれ以上またはそれ以下の数を選べば良いのです。これらの最初のディーコンの場合は、選ばれて、彼らのために神に祈りがささげられました。実質的には、いまだに同じ事がなされていて、今日私たちがグラントに按手した時、彼のために祈りました。今ではこの儀式には按手式と言う正式な名称がありますが、使徒の働きの書で見ることと同じです。他の要素が関連していてもいなくとも、牧師又はディーコンの按手式は基本的には奉仕のために聖別された彼らを献げる祈りの時です。もちろん、教会の歴史が進むと使徒パウロがこれらのディ

ーコンに見るべき明確な基準を提示しました。それがテモテへの手紙 第一 3章 8～13 節が私たちに提示するものです。

8.同じように執事たちも、品位があり、二枚舌を使わず、大酒飲みでなく、不正な利を求めず、

9.きよい良心をもって、信仰の奥義を保っている人でなければなりません。

10.この人たちも、まず審査を受けさせなさい。そして、非難される点がなければ、執事として仕えさせなさい。

11.この奉仕に就く女の人も同じように、品位があり、人を中傷する者でなく、自分を制し、すべてに忠実な人でなければなりません。

12.執事は一人の妻の夫であって、子どもと家庭をよく治める人でなければなりません。

13.執事として立派に仕えた人は、良い地歩を占め、また、キリスト・イエスを信じる信仰について、強い確信を持つことができるのです。

私たちがテモテの手紙一を学んだ時、一つの説教を費やしました。これを教会がディーコンとして求める人はキリストのようであるべきと要約できます。

この聖句が私たちがディーコンとして男性だけではなく女性も指名する根拠です。英語標準訳 11 節では妻と言っていますが、この言葉は一般的に女性を指す言葉です。聖書には、長老や牧師としては一切ありませんが、明確にディーコンとして仕えた女性たちの例が載っています。もし誰かがこれらの基準を満たし、キリストのような奉仕が教会によって認められたならば、その人たちをディーコンとして承認すべきです。

幸いにも、ここ YIBC の人たちの中には僕の心を持ち、私たちが認識し按手する数以上の人たちが実際は資格条件をクリアしています。そのため、教会は私が知る限りで最もキリストのような男性と女性のディーコンがいると言う恵みを受けています。皆さんは教会として彼らの人格と僕の姿勢、神の召命と献身を認め評価しました。私はこの説教をここで締めくくります。この礼拝式は靈的に若い信者が公にキリストに従いバプテスマを受けるという祝福で始まり、引き続いて成熟した信者がディーコンとして按手を受け、ディーコンの執事会を 2021 年に主に仕えるよう献げました。ここで今日列席しているディーコンには前に来てもらいます。石原広恵さんは ZOOM による参加です。それでは今年の執事会ディーコン・カウンスルのために祈ります。

Acts 6:1-6 Deacons in the church

Today we are ordaining the newest Deacon for YIBC. It is always an exciting time to ordain a new Deacon, and I wanted to take the opportunity to leave for this week our study of the Abraham in Genesis and focus on Deacons. Later this year, I plan to preach a series of messages covering what we believe. As part of that series, we will cover Deacons in the sermons on the church. But this is a great opportunity to lay the foundation for that study. I want to look today at the passage where we first see what came to be known as Deacons introduced – **Acts 6:1-6**. Let's begin by reading this passage together. **“Now in these days when the disciples were increasing in number, a complaint by the Hellenists arose against the Hebrews because their widows were being neglected in the daily distribution. //2 And the twelve summoned the full number of the disciples and said, “It is not right that we should give up preaching the word of God to serve tables. 3 Therefore, brothers, pick out from among you seven men of good repute, full of the Spirit and of wisdom, whom we will appoint to this duty. 4 But we will devote ourselves to prayer and to the ministry of the word.” //5 And what they said pleased the whole gathering, and they chose Stephen, a man full of faith and of the Holy Spirit, and Philip, and Prochorus, and Nicanor, and Timon, and Parmenas, and Nicolaus, a proselyte of Antioch. 6 These they set before the apostles, and they prayed and laid their hands on them.”** Let's pray.

Although this passage is short, it answers 3 primary questions regarding Deacons. **The first and most basic question that is answered here is what are Deacons?** It has to be pointed out that the men we see there are not called Deacons, but we take them as the first ones. In this passage, we actually see two different types of church offices or leadership positions. Understanding what Deacons are begins with understanding this difference. The twelve apostles referenced in verse 2 are the Elders or pastors of the church. They are leading the church, preaching the gospel and passing along the teaching they received from Jesus to these new believers who formed the first church in Jerusalem.

The difference between Pastors and Deacons shows us what Deacons are. In the Bible there are 3 different words used for elders or pastors in the Bible, which all describe some form of authority in the church, but for Deacon, there is only one word, *diakonos*. The word literally means one who serves. What is difficult with this word is that we do see it translated in ways other than Deacon, and sometimes it is unclear whether it is referring to someone with an official office in the church of Deacon or perhaps just someone being pointed out as a servant. So what are Deacons? They are the servants of the church. They are necessary, but distinct in their role from the Elders or Pastors which are given the leadership role in the church.

This distinction between Elders and Deacons should lead to the next question, **Why have Deacons?** Churches already have Pastors which many times are paid for their work in the church, so why have Deacons? The early church was no different, they had these 12 men who had personally walked and been taught by Jesus, so why now choose 7 other men to formally recognize in the church? There are two distinct purposes that Deacons fulfill and we can see both in this passage. ***The first purpose for Deacons is church unity.*** Remember that the unity of the church is of primary importance. Paul summarizes this well in **1 Corinthians 1:10**, **“I appeal to you, brothers and sisters, in the name of our Lord Jesus Christ, that all of you agree with one another in what you say**

and that there be no divisions among you, but that you be perfectly united in mind and thought. That sets the stage for what was happening in Acts. There was disunity in the church because the Greek (what the ESV called Hellenist) widows were being neglected in the food that was given to widows each day to help them out as there were no social welfare structures to take care of those without children to take care of them. If they had become believers, their children could have rejected them. The solution proposed by the Elders, the apostles, to restore unity in the church was to choose these first 7 men, who would eventually become what we know as Deacons. They would make sure that the widows' concerns were addressed and unity was restored in the Body of Christ.

When we look at how the Deacons were used here in the book of Acts, *we see the second purpose for Deacons which is to free the Elders up to serve in their God given roles.* In verses 2-4, notice what the Apostles, the Elders of the church said they were supposed to focus on. **“It is not right that we should give up preaching the word of God to serve tables. 3 Therefore, brothers, pick out from among you seven men of good repute, full of the Spirit and of wisdom, whom we will appoint to this duty. 4 But we will devote ourselves to prayer and to the ministry of the word.”** They listed three tasks that were supposed to be the focus of the elders – preaching, prayer, ministry of the Word. Ministry of the Word is the preaching and teaching ministry of the church so it goes with preaching. That leaves a whole lot of other stuff that happens in any group of people that needs to be taken care of, especially a group of people called to be unified as the body of Christ. When those other tasks not related to preaching, prayer and ministry of the Word get in the way of the Elders focusing on those responsibilities, that is when the Deacons are needed to come alongside the Elder and relieve him of those concerns.

Can and should Deacons still do these tasks today? Absolutely! People still raise up complaints, some valid and others not, just like the Greek widows did in the early church. Deacons can react to needs and problems in order to ensure that unity rules in the church, and that each member feels the love of Christ that is supposed to be shown to each other. This year one of my focuses with our Deacon Council is to make sure that every member of YIBC is assigned to a Deacon. The purpose is to make sure we are connecting with each member to see if there are needs you have or at the very least what we can pray with you about. For some of you this will be done through your Sunday School class and for others, it will be more direct contact with one of the Deacons, but I really want you to know that the Deacons are here to serve you as the members of YIBC.

In our contemporary culture, there are many tasks to distract Pastors and Elders from the primary tasks of prayer, preaching and ministry of the Word. We now have buildings for the body of Christ to meet in, although it is not necessary for the church, it is nice to have. Those buildings need taken care of. As we have looked for the best ways to do discipleship as a church, we have developed this organization called Sunday School and figured out ways to teach children at their developmental levels. That requires management of teacher schedules and materials to be ordered. All things that a Pastor can do, but probably are better left to servants/Deacons within the church. Elders and Pastors are primarily responsible to God for the worship that happens on Sunday mornings when the church gathers, but there are logistical parts to the worship service that are better looked after by others – ushers, greeters, sound board technicians, musician schedules, Proclaim software computer operators. All these things which were

not present in the early church, but they help us be the church in the way that is Biblical but modern. This is why God set up not just Pastors, but Deacons to make sure that these details are taken care of.

The last question that may not be obvious in this passage, but is important is this - Who should be a Deacon? The short answer to this question is, whoever the church, you, recognize and select for that position. Notice here in Acts that it was not the Apostles, the Pastors or elders of the church who chose the Deacons. It was the church body itself. The early church in Jerusalem chose 7 men to serve as Deacons. There does not seem to be a need to stick to 7 only, though. I know some churches do, but the number is not significant. It is the number that that church needed, and each church is free to choose as many or as few as they need. In the case of these first Deacons, they were chosen and then prayed over. In essence, this is what we did today when we ordained Grant by praying over him. We now have a formal word for this process – ordination, but it is the same thing we see here in Acts. Whether there are other elements involved, ordination for either pastors or deacons is basically a prayer of dedication over them for the ministry to which they are being set apart. Of course, as church history progressed, we find the Apostle Paul laying out specific criteria that should be looked for in these Deacons. This is what [1 Timothy 3:8-13](#) gives us. [8 Deacons likewise must be dignified, not double-tongued,\[a\] not addicted to much wine, not greedy for dishonest gain. 9 They must hold the mystery of the faith with a clear conscience. 10 And let them also be tested first; then let them serve as deacons if they prove themselves blameless. 11 Their wives likewise must be dignified, not slanderers, but sober-minded, faithful in all things. 12 Let deacons each be the husband of one wife, managing their children and their own households well. 13 For those who serve well as deacons gain a good standing for themselves and also great confidence in the faith that is in Christ Jesus.](#) I spent an entire sermon on this when we were in 1 Timothy, but we can summarize this that the people the church should be looking for to be Deacons must be Christlike. This passage is also why we nominate not just men but women to be Deacons. Verse 11 says wives in the ESV, but the term is the generic term for women. We also have clear examples in Scripture of women serving as Deacon, although never as Elder or Pastor. If someone meets those criteria and is recognized by the church for their Christlike service, then we should recognize them as Deacons.

Thankfully, we have a church of folks here at YIBC who are servant hearted, and many more are qualified than those who we actually recognize and ordain. Because of this, we are blessed with Deacons that are some of the most Christlike men and women I know. You as the church have recognized their character and servant like attitude, and calling and commitment. I want to end this message and this worship service where we were blessed to see spiritually younger believers publicly obeying Christ in baptism...and then a mature believer ordained to service as a Deacon by recommitting our Deacons as a group to the Lord to serve this year. I'm going to ask those who are here to come to the front and I think we have Hiroe Ishihara joining us by Zoom since she can't be here in person. I'm going to offer prayer over our Deacon Council this year. Let's pray.